

# iMindMapクイック スタート ガイド - Macユーザー向け



## 初めてのマインド マップの作成

クイック スタート ガイドは、iMindMapの使用方法をすぐに学んでいただくためのガイドです。基本的なステップに沿って操作を行うとあなたの初めてのマインド マップを作成することができます。

このガイドは、iMindMapの全ての機能をご紹介する目的の文書ではございません。ご注意ください。ソフトウェアに搭載されている全ての機能、および高度なツールのより詳細な情報についてはiMindMapのソフトウェアからご覧いただけるiMindMapのヘルプをご参照ください。

### ステップ 1- セントラル アイデア/テーマ

セントラル イメージを使用してあなたの主となる目標またはテーマを表現することで効果的にマインド マッピングを行っていただけます。

**(1.1)** iMindMapが表示されたらスタートページから [新規マインドマップ] を選択します。または [ファイル]メニューから [新規] を選択してください。

**(1.2)** 表示されるライブラリーからセントラル アイデア イメージをクリックして選択します。[ファイルの参照] からコンピューター上の画像ファイルを選択することも可能です。(図 1 参照)



図 1

**(1.3)** 画面中央に選択したセントラル アイデア イメージが表示されます。クリックしてセントラル アイデアに文字を入力してください(図 2 参照)。

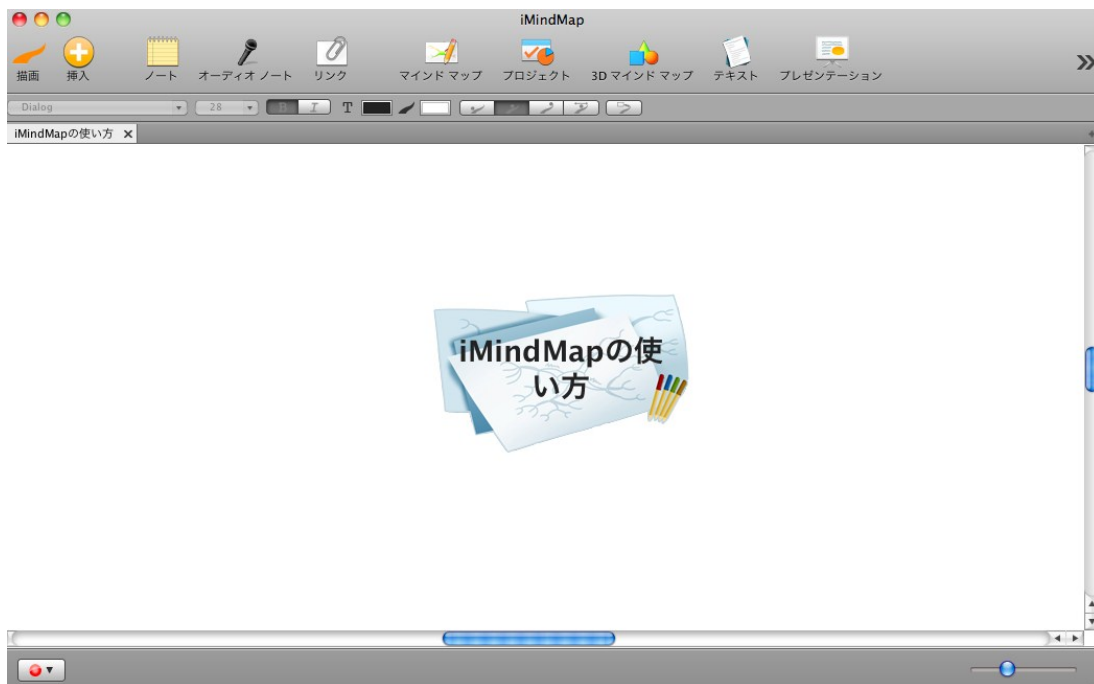


図 2

**注意:** マインド マップの名称が自動的にiMindMapのファイル名として使用されます。またファイルは、.imxの拡張子を持つ形式で保存されます。異なるファイル名で保存したい場合は、[ファイル]> [別名で保存] を選択し任意のファイル名に変更してください。

## ステップ 2- メイン ブランチ

これでセントラル テーマに主要なアイデアを追加する準備が整いました。メイン ブランチは、あなたの主要なアイデア、基本となるコンセプトまたは関連するアイデアを引っ掛ける鉤のような役割を果たします。

**(2.1) メイン ブランチの作成** – セントラル イメージの中央に表示されている赤色の円をクリックし(セントラル イメージの上にマウスを移動させると表示されます)、適切な長さのブランチが描画できるまで外側にマウスをドラッグしてください。



(2.2) ブランチへのラベル/テキストの追加 – ブランチを作成した直後にテキストを入力して Enter キーを押します。入力したテキストがブランチに追加されます(図 3 参照)。

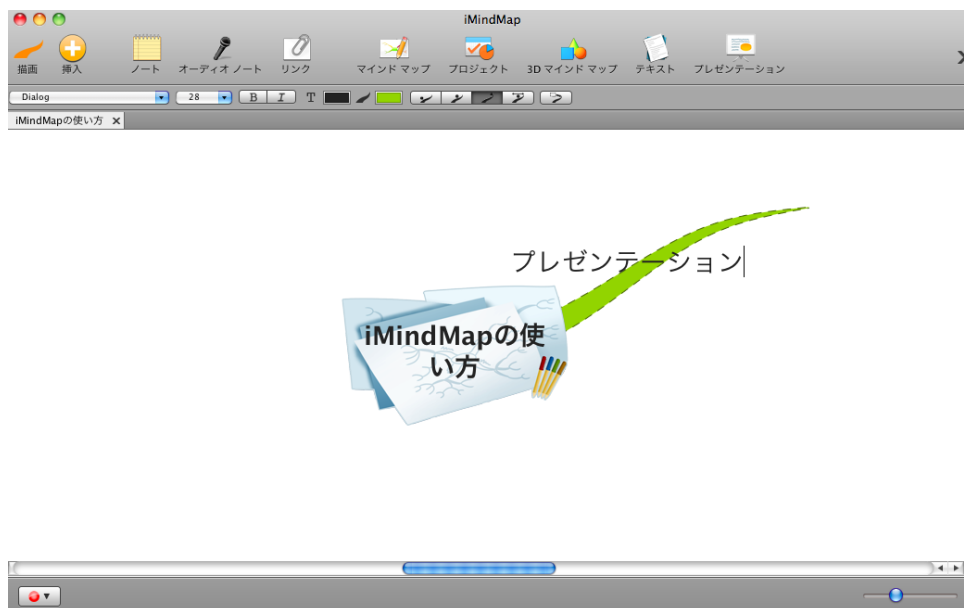


図 3

ヒント: 効果的なマインド マッピングを行うにはひとつのブランチにひとつのキーワードを記載するようにしてください。複数の単語や文章よりもひとつの単語だけを表記することで思考が活性化され、また記憶にも残り易くなります。

ヒント: ブランチに3つ以上の単語を記載する場合はボックス ブランチをご利用ください。ブランチを作成する前にメイン ツールバーの [描画] アイコンをクリックし [ボックス ブランチ] を選択するとボックス ブランチを描くことができます。

必要なだけブランチを作成し、主要なコンセプトをすべて記載します。下図の例を参考に作成してください(図 4 参照)。

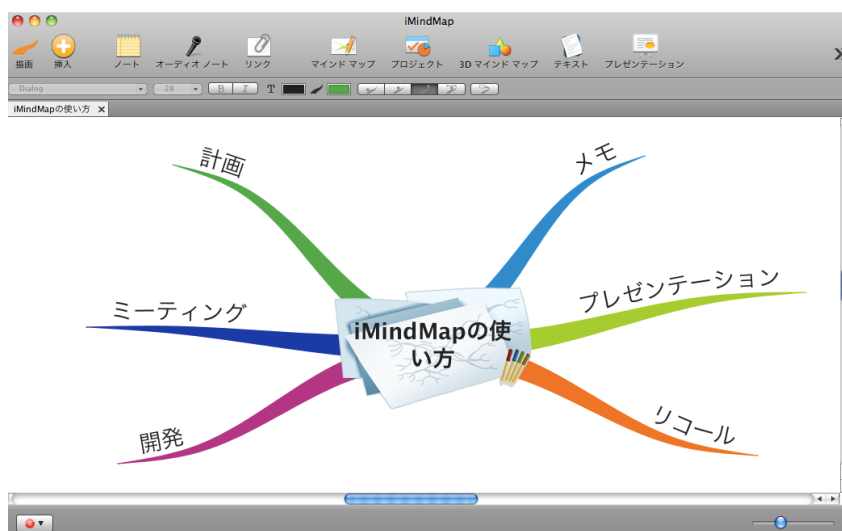


図 4

iMindMapにはスマートレイアウトという機能が搭載されています。この機能は、マインド マップを効率的に作成するために使用されます。

### スマートレイアウトの設定

iMindMap 5 のスマートレイアウト機能により、ユーザーはブランチ、テキストやイメージが重なったりすることを気にせずにマインド マップの作成を行えます。スマートレイアウトはデフォルトで有効になっており、ブランチ、テキストまたはイメージが他のブランチの一定距離内に近づくと自動的にブランチを移動し、それぞれが重ならないように調節して配置します。

[書式] メニューの [スマートレイアウト設定] からスマートレイアウトのオン/オフを指定できます。このダイアログで指定した設定に基づきマップのレイアウトが自動的に配置されます。



メインツールバーの [クリーンアップ] をクリックするとマップの不要な空白を取り除いたり、ブランチをきれいに並べたり、オブジェクトを最適な位置に配置できます。



スマートレイアウト機能はキーボードを使用してマインド マップを効率的に素早く作成する場合に大変便利なツールです。マウスを使用せずに描画をiMindMapのスマートレイアウトに任せることで、アイデアを考える作業に集中できます。

下記の表でご紹介しているキーボード ショートカットを使用するとマウスを使用せずに新しいブランチやテキストを入力できしたり、ブランチが重なることのない整ったマインド マップを作成することができます。

子ブランチの挿入	Tab
兄弟ブランチの挿入	Enter
子ボックス ブランチの挿入	Shift + Tab
兄弟ボックス ブランチの挿入	Shift + Enter
ナビゲーション	矢印キー

**注意:** テキストのフォントの種類、色やサイズを変更するにはブランチのテキストを一度クリックしてから書式設定より任意の設定を変更できます。テキストの文字を選択する必要はありません。

iMindMapではマインド マップのデザインをすぐに変更できる予め設定済みの色やテーマが用意されています。この便利なスタイル シートを利用するには、メインツールバーから [スタイル] を選択すると図 5 に示すスタイル ウィンドウが表示されます。スクロールしてさまざまなスタイル見ることができます。スタイルを適用するには [選択] をクリックしてください。

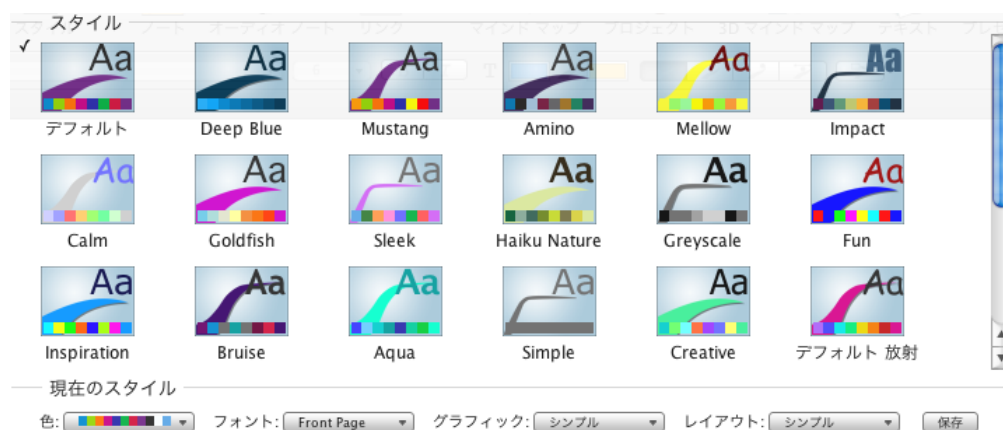


図 5

iMindMap 5 では独自のスタイルを作成し保存できます。[スタイル] ウィンドウの色、フォント、グラフィック、レイアウトのプルダウンメニューから [オプションの作成] をクリックするとそれぞれのスタイルの詳細な設定を行えます:



独自のスタイルの設定が完了したら [保存] ボタンをクリックしてください。スタイル名を指定し保存します。新しく作成したスタイルは定義済みスタイルのパネルに登録され、クリックするだけで簡単にマップのデザインを変更することができます。

### (2.3) ブランチの編集と移動



描いたブランチの編集や移動を行うには、対象のブランチの外側にマウスを移動すると表示される青色のリングをクリックして移動してください。この操作でブランチの長さや位置を変更することができます。

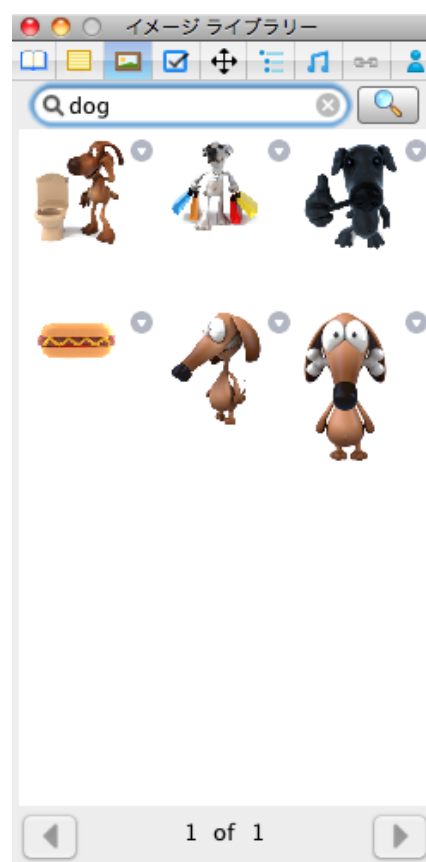
### ステップ 3- メイン アイデアへのイメージ/シンボルの追加

メイン ブランチを作成するときにイメージやシンボルを使用すると想像力を高め、頭の中で連想の引き金となり、記憶により強く残ります。

**(3.1) イメージ ライブラリー** - 3000 種類以上ものオフラインでアクセスできるイメージがイメージ ライブラリーによって提供されており、イメージを検索しマインド マップに追加することができます。イメージ ライブラリーへアクセスするには、メイン ツールバーの [挿入] アイコンをクリックし、[イメージ] を選択してください。



**注意:** ソフトウェアの中からThinkBuzanアカウントにログインするとオンラインのイメージ データベースにアクセスすることができ、更に **30,000** 種類以上のイメージをご利用いただけます。ソフトウェアからログインを行うには、まずインターネットに接続します。ソフトウェアのメインウィンドウの左下隅に表示されている赤色のボタンをクリックし [ログイン] を選択します。アカウントの情報を入力するダイアログが表示されます。ここに入力するアカウント情報はThinkBuzanのwebサイト ([www.thinkbuzan.com](http://www.thinkbuzan.com)) で使用されているログインの情報と同じです。ログインが成功すると赤色のアイコンが緑色に変わります。この状態でイメージ ライブラリーを検索するとさらに多くのイメージにアクセスすることができます。画面左側のインスペクターにイメージ ライブラリーが表示されます。



イメージ ライブラリー専用の検索ツールの検索バーにキーワードやフレーズを入力してください。入力後に虫眼鏡のアイコンをクリックして検索を開始します。入力したキーワードやフレーズに関連するイメージが表示されます。

**(3.2) アイコン ライブラリー** – アイコン ライブラリーには、マインド マップに使用できるアイコンが多数格納されています。カテゴリーごとにまとまっているため簡単にアイコンを探すことができます。アイコン ライブラリーにアクセスするには、メイン ツールバーの [挿入] アイコンをクリックします。画面左側のインスペクターにアイコン ライブラリーが表示され、ここからアイコンを選択できます。

### (3.3) イメージまたはアイコン ライブラリーから画像を挿入する

- **ブランチに挿入** – イメージやアイコンをブランチに追加するには、イメージ/アイコン ライブラリーを使用する前に、まず対象となるブランチを選択してアクティブな状態にします。ブランチを選択したら、使用したいイメージ/アイコンをダブルクリックするとブランチに画像が表示されます(図 6 参照)。
- **セントラル アイデアとして挿入** – イメージ(注:アイコンはセントラル アイデアとして利用できません)をセントラル アイデアとして挿入するには、まずブランチが選択されていない状態にし、使用したいイメージをダブルクリックします。iMindMapのワークスペースに選択したイメージが表示され、メイン ブランチを追加できる状態になります。

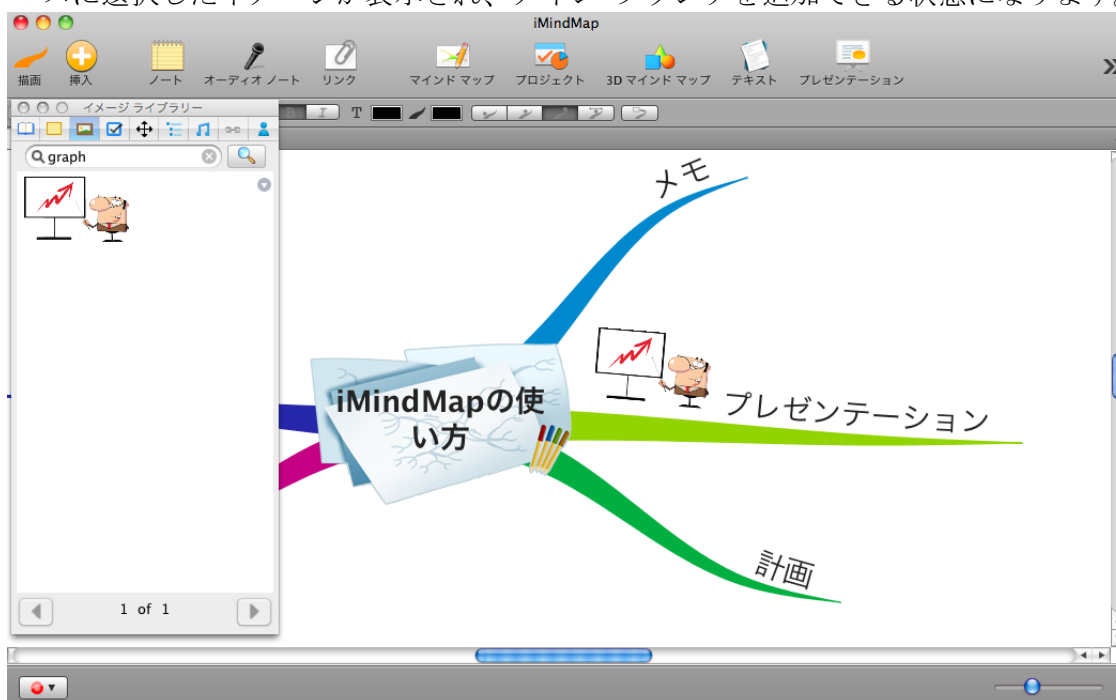


図 6

**(3.4) イメージの再配置** – イメージはクリックしてドラッグするとマインド マップ内の任意の位置に移動することができます。

**(3.5) イメージのサイズの変更** – イメージのサイズを変更するには、まずイメージをクリックし、イメージの周囲に表示される 8 つのハンドルのどれかをクリックしてドラッグしてください。



**(3.6) メージの回転** - イメージを回転させるには、一度イメージを選択しイメージの右下に表示される回転ツールをクリックしてドラッグしてください。アニメーションは回転することができませんのでご注意ください。

## ステップ 4 - 子ブランチの作成

メイン ブランチが作成できれば、2 番目のレベルと 3 番目のレベルのコンセプトの考えが容易に浮かんでくるはずですよ。

### (4.1) 子ブランチの追加



既存のメイン ブランチに表示される赤色の円をクリックしてドラッグすると子ブランチを作成できます。次のレベルのアイデアとして示すために iMindMap が自動的に親ブランチよりも細かいブランチを描きます(図 7 参照)。マインド マップを作成する際は、

以下の方法をお勧めします:

- キーワードを使用してメイン アイデアを説明したり発展させます。
- 各ブランチに一つの単語のみ記載し、新しいアイデアや考えが浮かびやすいようにシンプルに保ちます。
- そのレベルに関連して連想できるアイデアや考えが十分に出尽くすまで子ブランチを追加していきます。

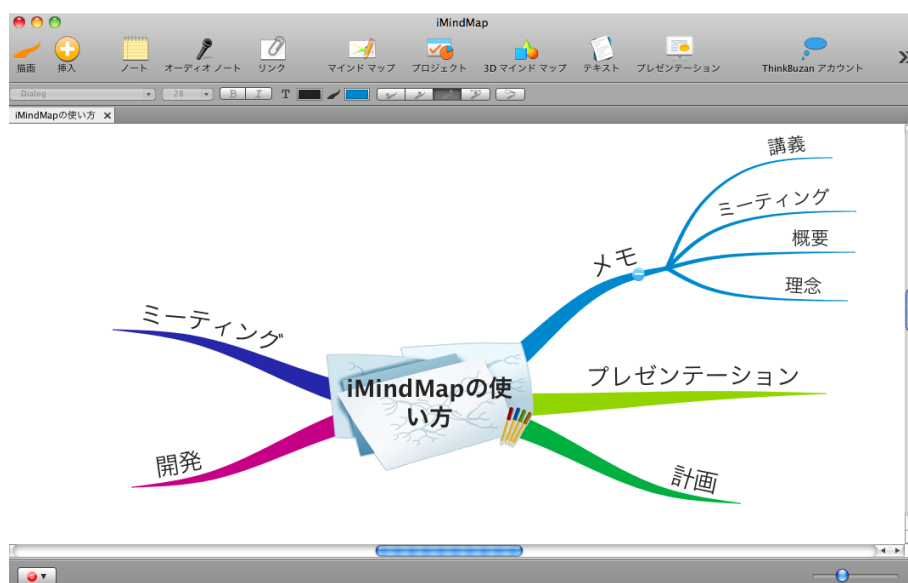


図 7

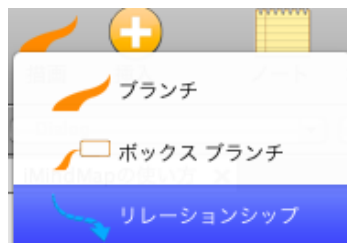
- さらに子ブランチに対してサブブランチを追加して考えを深めていきます。3つ目のレベル、4つ目のレベル、さらに深いレベルまで必要なだけブランチを追加できます。
- トピックの内容を明確にして想像力と記憶力を高めるために、イメージやシンボルを活用してください。

## ステップ 5 – 関連性の強調と境界線の作成

### (5.1) リレーションシップの追加

2つのコンセプトが連続していなくても相互に関連性がある場合があります。このようなときはワークスペース上のブランチ同士や異なるマップ（マルチマップを作成している場合）の関連性をリレーションシップ機能を使用して表現することができます。

リレーションシップを追加するには:



- まず、メイン ツールバーの [描画] アイコンをクリックし、[リレーションシップ] を選択します。
- 接続したいブランチの終点を選択してクリックし、関連付けたいもう一方のブランチまでドラッグします。
- リレーションシップに文字を入力するには、リレーションシップを選択もしくはアクティブな状態にして文字を入力してください。
- 接続先のブランチの上でマウスを離すと二つのアイデアを繋げるリレーションシップの矢印が表示されます。
- 矢印の形状を変更したい場合は、リレーションシップの線上に表示されるコントロール ポイント（青色または白色の円）をクリックして移動します。コントロール ポイントを追加してより柔軟に形状を変えたい場合は、**Shift**キーを押しながらコントロール ポイントを追加したい場所をクリックしてください。
- リレーションシップの矢印の色を変更したい場合は、リレーションシップを選択した状態でメイン ツールバーのブランチ カラー セレクター ツールから変更できます。
- [書式] タブの [リレーションシップ] からリレーションシップの書式を設定できます。

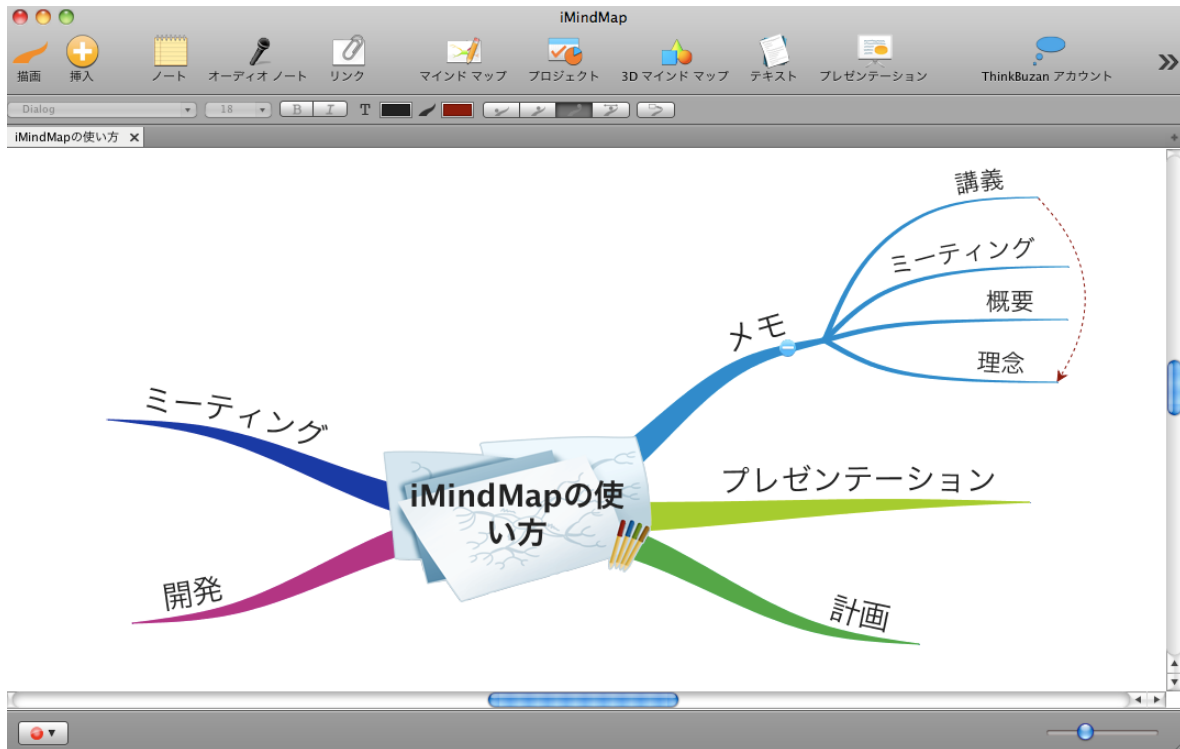


図 8

## (5.2) 境界線の追加

境界線を追加して特定のトピックを目立たせることで、記憶し易くなり周囲の情報との違いを明瞭に伝えることができます。また、目に見える形で境界線を作成することで複数のアイデアをグループ化したい場合にも役立ちます。境界線を追加するには:

- 境界線で囲みたいブランチのトピックを選択した状態にします。



- [挿入] メニューから [境界線] を選択します。選択したトピックを囲むように境界線の雲が作成されます。図 10 をご参照ください。

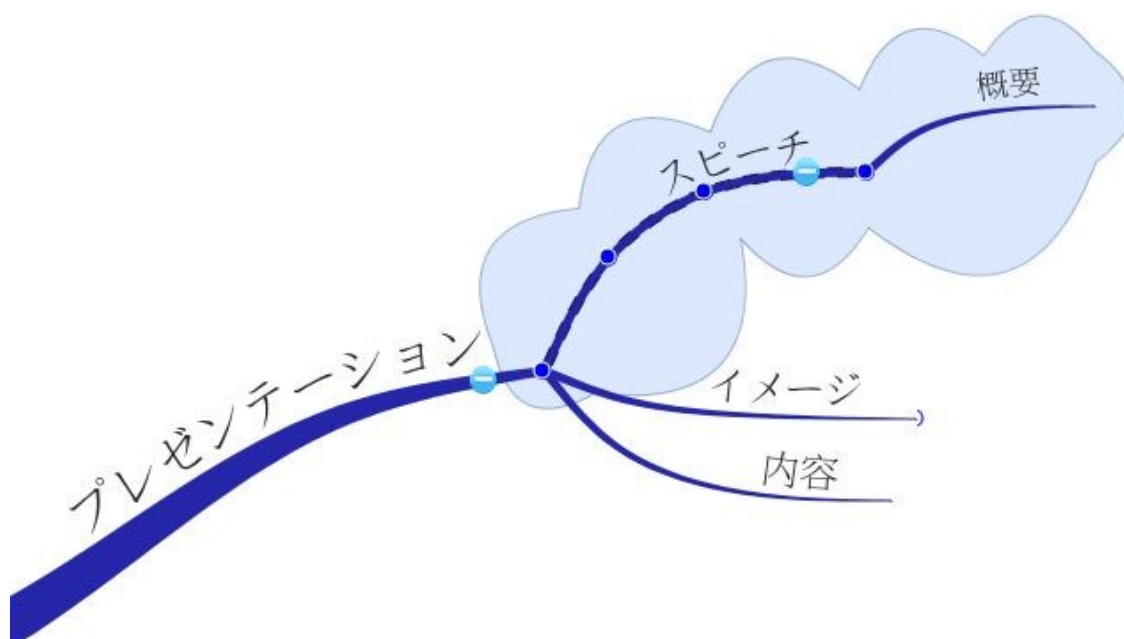
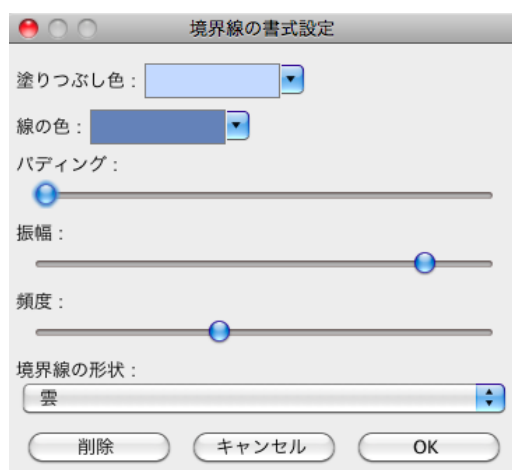


図 10

- 境界線の色や形状を変更したい場合は、まず境界線に囲まれているブランチを選択してください。次に、境界線の中をダブルクリックします。設定画面が表示され、塗りつぶしや線の色のほかパディング、振幅、頻度や境界線の形状を指定することができます。



## ステップ 6- ドラッグとドロップによるブランチの移動

### (6.1) ドラッグとドロップによりブランチを別の位置に移動する

ブランチを新しい位置に移動するには、まず移動したいブランチをクリックし、マウスのボタンを押した状態で移動先にドラッグします。ブランチに別のブランチの挿入が可能な場合には、挿入先のブランチの終点に小さいブランチのアイコンが薄く灰色で表示されます。以下の図 11 をご参照ください。

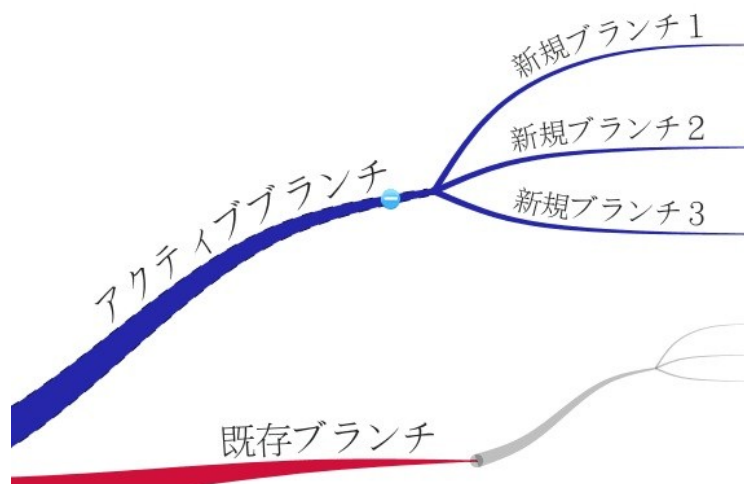


図 11

ブランチとその子ブランチが新しい位置に移動します。ブランチを移動したり、切り取って貼り付けたりする場合、iMindMapが自動的にブランチの向きを反転し、親ブランチと同じ方向にブランチが表示されるように配置します。

また、スマートレイアウトの機能によって移動したブランチがその他のブランチ、テキストやイメージと衝突したり重なってしまわないように自動的に位置が調節されます。


## ステップ 7- 情報の挿入

特定のコンセプトについて更に詳細に説明したり考えを深めたい場合は、ファイルへのリンク、Web URLへのリンクやノートなどをブランチに追加することができます。いつでも必要な資料や文献にアクセスすることができます。

### (7.1) ファイルやリンクの添付

ブランチにリンクを追加するにはまずリンクを作成したいブランチを選択した状態にします。次に、メイン ツールバーの [リンク] アイコンをクリックします。ハイパーリンク ウィンドウがインスペクターに表示されます。または、ブランチを右クリックして [リンクの挿入] を選択しても同じ操作を行えます。

フォルダー アイコン  をクリックしてファイルへのリンクを追加することができます。

Webサイトへのリンクを追加するには、鎖アイコン  をクリックしてボックスにURLを入力してください。

### (7.2) テキストのノートの追加

マップに直接表示されないコメントやノートを追加したい場合は、ノート エディターをご利用ください:



ノート エディター – iMindMap 5 ではブランチにノートを追加できるワード プロセッサを搭載しています。まずノートを挿入したいブランチを選択します。次に、メイン ツールバーの [ノート] アイコンをクリックします。画面の左側にインスペクターが表示され、ノートを入力できます(図 12)。

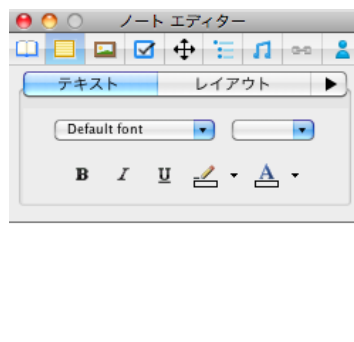


図 12

### (7.3) スマート セル

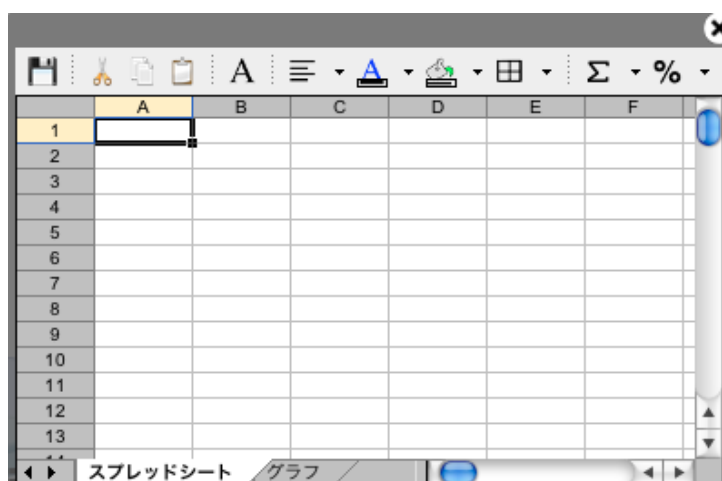
スマート セルを使用してブランチにスプレッドシート、フローチャートそしてスケッチした図を挿入できます。

スマート セルを挿入するには、対象のブランチを選択してメイン ツールバーから [挿入] メニューを選択します。

メニューからブランチに挿入するスマート セルを選択できます。フローチャート、スプレッドシートまたはスケッチから選べます。





スプレッドシートを挿入するには、[スプレッドシート] をクリックします。スプレッドシートエディターが表示されます。





このエディターを使用して基本的なスプレッドシートを作成できます。マインド マップのなかで統計情報を見せたいときに便利です。

エディター上部に表示されている書式バーからフォントの色やスタイル、セルの塗りつぶし色や罫線のスタイルを指定できます。

合計(Σ)アイコンとパーセント(%)アイコンを使用してスプレッドシートに数式を適用することができます。

スプレッドシートを作成できたら保存アイコン  をクリックしてし  をクリックしてウィンドウを閉じます。ブランチにスプレッドシートが表示されているのが確認できるはずです。

フローチャートを挿入するには、[挿入] メニューから [フローチャート] をクリックしてフローチャート エディターを表示します。図形をドラッグしてキャンバスに配置し、ツールバーのコネ

クター ツールを使用して図形をリンクできます。保存ボタン  をクリックして編集を保存し  でウィンドウを閉じます。

#### (7.4) マルチマップ

ワークスペースに複数の異なるマップを挿入することができます。図 9 で示すように、マルチマップ機能は複数のセントラル アイデアを配置し、各マップの関連性をリンクで表すことができます。

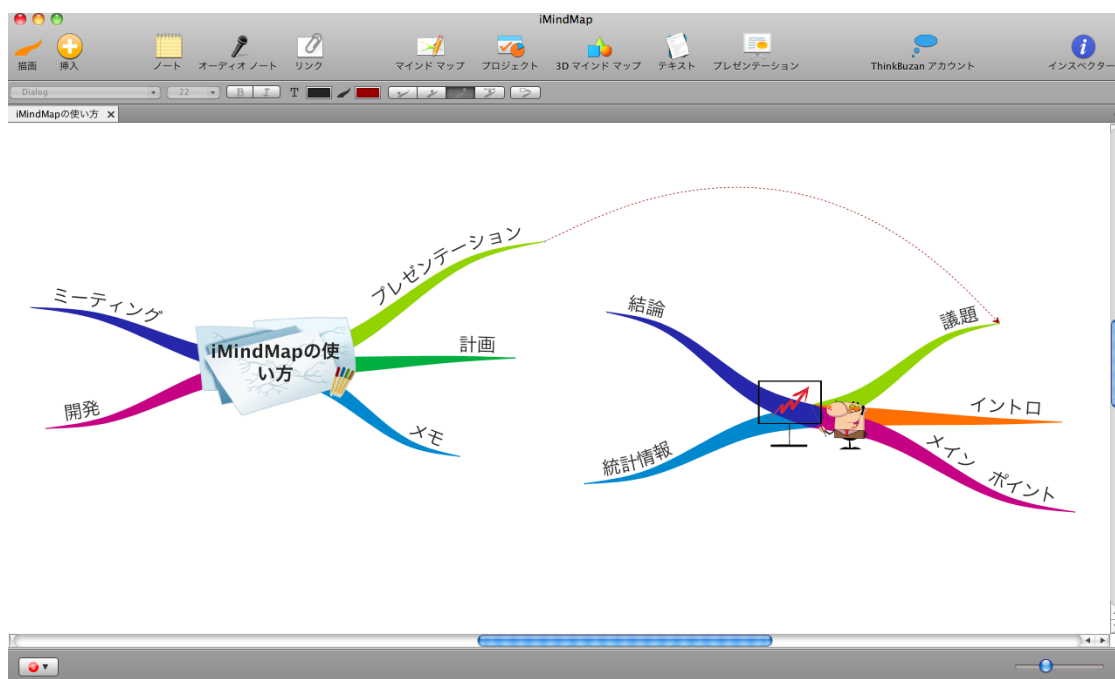


図 13

たくさんのアイデアの関連性を表現したいときやマインド マップが大きくなりすぎてしまったときなどにこの機能を使用すると便利です。ひとつのメイン アイデアにたくさんの子ブランチを追加するのではなく、別のメイン アイデアを作成しそこに関連する情報を追加していくことができます。

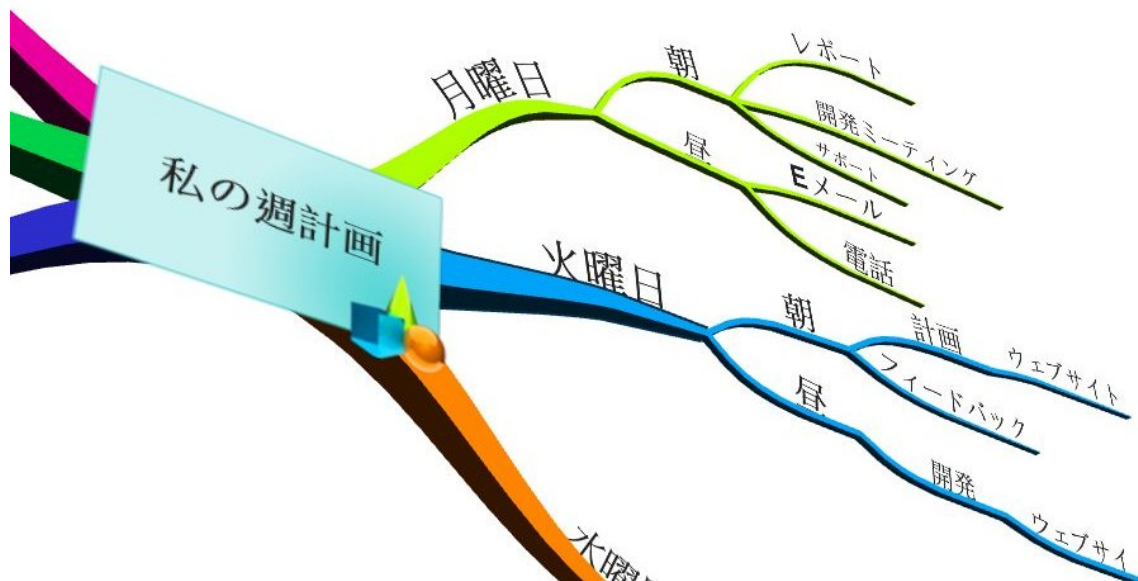
また、ひとつのセントラル アイデアのブランチから別のセントラル アイデアのブランチをリレーションシップの矢印で接続することができるため、関連のある複数のアイデアを視覚的にも明瞭で見易くマップに表現することが可能です。

二つの方法でセントラル アイデアを追加できます:

- a) [挿入] アイコンをクリックし [アイデア] を選択する。
- b) マインド マップの既存のブランチをドラッグし、ワークスペースの別の場所に配置する。この操作を行うとデフォルトで新しいマインド マップが作成されるようになっています。ドラッグしたブランチの子ブランチが新しく作成されるマインド マップのメイン ブランチとなります。

## ステップ 8- マインド マップの 3D表示

3Dビューによって全く新しい情報の表現方法を提供します。世界初の3Dマインド マップビューはあなたのマインド マップを3次元のオブジェクトとして表示します。さまざまな角度からマップを眺め、特定の箇所を拡大することでマインド マッピングの新しい体験をお楽しみいただけます。3Dの映画や3Dのテレビが身近に普及する中で、この機能により3Dのプレゼンテーションも実現できます。発表する側も楽しめまた見る側も強く惹きつけられる。聴き手の注目を集め、驚きと強い印象を与える斬新なプレゼンテーションを行うことができます。



3Dマインド マップ ビューで表示するには、メイン ツールバーの [3Dマインド マップ] アイコンをクリックしてください。

3Dビューではマップ内のナビゲーションを容易に行えます。キーボードの矢印キー、シンプルな3Dコントロール パネル(ワークスペースの右下に表示されます)またはマウスを使用してマップ内を移動できます。ワークスペース内を様々な角度から探索することができ、移動するとiMindMapが滑らかなアニメーションで3Dのマップを表示します。

キーボードの矢印: 各ブランチを移動するときに便利です。アクティブなブランチを拡大表示し、特定のブランチに注目できます。

3Dコントロール パネル: 上下左右の山形紋のボタンを使用して視点の角度をコントロールし、マップの3D面に対しての見え方を変更できます。中央の円のボタンでマップの表示をもとの位置に戻します。

同じワークスペース内に複数のマップが存在している場合は、左右の矢印を使用して別のマップを表示できます。

マウス: ブランチをクリックしてフォーカスする、またはマップを動かしてワークスペース内を移動できます。

## ステップ 9 – マインド マップのエクスポート

iMindMapでは複数のエクスポート オプションを提供しており、作成したマインド マップを共有する幅広い選択肢をご用意しています。以下の形式にエクスポート可能です:

- 画像ファイルへのエクスポート (JPG, PNG および PDF 形式)
- SVG形式へのエクスポート
- PDFと文書形式へのエクスポート
- Webページへのエクスポート
- スプレッドシートへのエクスポート
- プレゼンテーションまたは対話的なプレゼンテーションへのエクスポート
- Microsoft Project形式へのエクスポート

エクスポート メニューは [ファイル] メニューから [エクスポート] を選択するとアクセスできます。この画面からエクスポートのオプションを指定できます。

**注意:** ご使用になっているiMindMapのエディションにより利用可能なエクスポート機能が異なります

iMindMap Basic: 画像へのエクスポート(JPEG / PNG / PDF)

iMindMap Home & Student: 画像へのエクスポート(JPEG / PNG / PDF)

iMindMap Ultimate: テキスト文書(Word / Writer/ PDF)、マインドマップ パック、SVG、プレゼンテーション(PPT / Impress)、スプレッドシート(Excel / Numbers)、プロジェクト

## ステップ 10 – マインド マップの印刷と保存

### (10.1) 印刷

アクティブになっているマインド マップの印刷を行うには、[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。表示される画面で使用するプリンターや印刷部数などを指定できます。また、マップ全体を印刷するのかそれともメイン ブランチのみを印刷するのかといった設定も行えます。更に、その他のオプションとしてページのレイアウト方向 (縦/横) や表示縮尺なども設定することができます。

### (10.2) 保存

iMindMapを終了する前に作成したマインド マップを保存してください。

- マップを保存するには、[ファイル] メニューから [保存] を選択します。
- 必要であればマップを保存するディレクトリーを指定します。
- [保存] ボタンをクリックします。

**注意:** iMindMapのドキュメントは自動的に.imx の拡張子を持つファイル形式で保存されます。さらに詳細な機能については、[ビデオ チュートリアル](#)をご覧ください。